

2021年9月22日

日本着輸入貨物のフリータイム動向について

中国の船社が、コンテナ回転率を上げるため、10月から、営業日カウント方式をカレンダーカウント方式へ変更する旨、通達しています。

本動向につきましては、本日付「日刊カーゴ (Daily Cargo) 紙」にも取り上げられていますので、ご参考としてご報告いたします。

中国船社 フリータイム改定の動き広がる

中国船社各社は、来月から日本向け輸出貨物のフリータイム期間や、超過保管料及び返却遅滞料の算出方法を相次ぎ改定する。

日中航路ではかねてより、ヤードでのコンテナ蔵置を巡るコスト負担の適正化や滞留緩和が課題となっており、船社はコンテナ回転率の改善と合わせて見直しを図る考えだ。特約貨物での超過保管料も見直す。

1. フリータイムのカウント方式

営業日方式から土日を含むカレンダー方式へと変更する。

2. 超過保管料の算出方法の見直し

船社によって差はあるが、フリータイム期間を従来の5日程度から1~2日延長する一方、超過保管料を超過日数のみで算出する方法から、フリータイム期間と超過日数の累計での算出方法に変更する動きが目立つ。これまで土日の蔵置に伴うコストは船社負担だったが、世界的に見るとフリータイムのカウントはカレンダー方式が主流だ。

日本ではこれまで歴史的に、フリータイムを営業日でカウントする方法が主流だったが、船社側は今回を機にコスト負担の適正化を図りたいと考えている。

船社は、超過保管料の算出方法を見直すことで、コンテナ在庫の回転率向上も目指す。

参考

【COSCO】

https://world.lines.coscoshipping.com/statics/sites/main/local/japan/jp/news/Companynews/PublishingImages/Pages/Import_FreeTime_China_Japan_20211001/%E6%97%A5%E4%B8%AD%E8%88%AA%E8%B7%AF%E8%BC%B8%E5%85%A5%E3%83%95%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%82%BF%E3%82%A4%E3%83%A0%E5%86%8D%E6%94%B9%E5%AE%9A%E3%81%AE%E3%81%94%E6%A1%88%E5%86%85.pdf

ATTO CO., LTD.

5-1 Nihonbashi Muromachi 4-Chome, Chuo-Ku, Tokyo 103-0022 Japan

Tel: +81-3-6262-6467 / Fax: +81-3-6262-6468

URL: <http://www.attoinfo.com> / E-Mail: info@attoinfo.com



【SITC】

<http://www.sitc.co.jp/archives/15996>

【SJJ】

<http://www.jinjiangshipping.com/news/2021/news241.html>

【SINOTRANS】

<http://www.sinotrans.co.jp/news/files/2021-09-06-01.01.pdf?v=2>

以上